

少年の主張 中標津町大会

昨年11月12日に中標津中学校体育館で開催した本大会では、町内の中学校から8人の代表が、自分の思いを力強く発表しました。最優秀賞には、広陵中学校2年川口結奏さん、優秀賞には、計根別学園9年稲垣凜和さん、広陵中学校3年田代優心さんが選ばれました。

紙面の都合上、最優秀賞の発表のみ掲載となりますので、ご了承ください。



最優秀賞 言葉の力

広陵中学校2年 川口 結奏

私たちは毎日、たくさんの言葉に囲まれて生きています。例えば友達との会話、授業での言葉、インターネット上でのメッセージなどです。言葉は人と人の心をつなぎ、感情を共有し、行動を促す力を持っています。だからこそ、言葉を選ぶことはとても大切です。

私がこのことに気付いたのは部活の帰り道のことでした。いつもの道を歩いて帰っているとゴミ拾いをしている人がいました。道幅が狭く、少し歩きにくくなっていました。私は部活の帰りで少し疲れていることもあり、正直邪魔だと思いました。しかし「ちょっとすいません。」と声をかけるのもゴミ拾いをしてもらっているの、申し訳ないと感じて代わりに「ゴミ拾いありがとうございます。」と言ってみようと思いました。勇気を出して「ゴミ拾いありがとうございます。」と声をかけるとその人は笑顔で「通りにくかったわね。ごめんなさい。」と言いながら道を譲ってくれました。私は笑顔で、頭を下げて通り過ぎました。その瞬間私の心は温かい気持ちで満たされました。そのとき「ありがとう」という言葉には相手を尊重し、感謝を伝える魔法のような力があると気付いたのです。

もしあのとき「ちょっとすいません。」と声をかけていたらどのようになっていたでしょうか。もしかしたら相手の人は少し嫌な気持ちになって、私もなんとも言えない思いをしたかもしれません。たった一言の違いでその後の気持ちが大きく変わってしまうことを実感しました。

